



【雄新中学校】

<第1学年：災害から身を守るために>

過去の自然災害による被害についての学習やマイタイムラインの作成を通して、校区の防災について考えた。大雨被害について警戒レベル4発令や、南海トラフ地震臨時情報発表などもあり生徒は自分の事として災害の恐ろしさを学んだ。また、四国MEの会、松山工業高校や松山南高校の協力で、DIG（簡易型図上訓練）を用いた授業を行った。過去と現在の校区の地図を比較し、発生しうる自然災害とその対策についてグループワークを行った。避難指示が出た場合の避難場所を考えるという演習を行った。MEの会の方や高校生からアドバイスをいただき、被災した際には多面的・多角的な視点を持つことの大切さを学んだ。

これらの活動を通して、自分たちの住む地域の特徴を理解し、災害に備えることの大切さを学んだ。



<第3学年：フェアトレードとSDGs>

「フェアトレードとSDGs～愛媛とモザンビークのつながり～」をテーマに、四国グローバルネットワークから竹内よし子さんを講師に迎え、体験型の授業を行った。学生団体Bofで活動している高校生の作文を聞き、中学生の自分たちにもできる支援があると気付くことができた。「小物作りのワークショップで、先進国の班には十分な材料やミシン等の便利な道具が揃っているのに、私がいた発展途上国の班には針も糸もなく大変な思いをした。これが世界の貧富の差なのだと知り、もっと知らなければならぬし、助け合っていくことができれば困っている人を救えるだろう」という生徒の感想もあった。模擬体験を通して、最貧国で困っている人の気持ちを知った生徒は、今の生活が当たり前ではない、自分のことばかりではなく周囲のことも気にして生きていこうという気持ちを強くした。

